

SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業生 調査

SUSTAINABLE FOREST ACTION

- ▶ SUSTAINABLE FOREST ACTIONの概要
- ▶ SUSTAINABLE FOREST ACTIONプログラム全体の満足度
- ▶ SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業チーム一覧
- ▶ SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業生の活躍
- ▶ SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業生成功事例の特徴

SUSTAINABLE FOREST ACTION の概要

SUSTAINABLE FOREST ACTION 概要

SUSTAINABLE FOREST ACTION 提供内容

SUSTAINABLE FOREST ACTIONの流れ

過去のSUSTAINABLE FOREST ACTIONの様子



SUSTAINABLE FOREST ACTION 概要

- SUSTAINABLE FOREST ACTION（通称SFA）は、日本で唯一の森林・林業特化の事業開発プログラム。
- 事業開発講座・森林関連講座・伴走メンタリング・林業合宿等のコンテンツが用意された約2ヶ月間のプログラム。
- 林業人材と異分野人材をマッチングするオープンイノベーションでのチーム編成をおこない、参加者はチーム一丸となって事業開発の最初のステージ（ニーズの実証や顧客開発）に取り組む。
- 2022年度は、参加者の事業のステージに合わせて「インキュベーション部門」と「アクセラレーター部門」を設けた。





チーム編成



林業人材と
異分野の事業開発人材で
チームを編成

伴走メンタリング



ベンチャー経営者など
事業開発経験者による
週次で伴走する
メンタリング

林業合宿 実証フィールド



林業の川上ー川下を
学べる合宿及び
実証地としての提供

事業開発講義 森林講座



新規事業開発に必要な
ノウハウ講座
および森林に関連する講座

資金



デモデイの
優勝チームに対する
資金提供



SUSTAINABLE FOREST ACTIONの流れ

プログラム期間 (約2ヶ月間) 講義+メンタリング+実証

募集・審査



- 部門
- インキュベーション部門
 - アクセラレーター部門

キックオフ



- 講義内容
- ESG講義
 - 事業開発講義
 - 林業・森林講義
 - 参加者同士の顔合わせ

林業合宿



- 林業合宿
- 鳥取県智頭町
 - 東京都檜原村
- 内容
- 林業体験
 - 林業と隣接産業の学び

中間合同研修



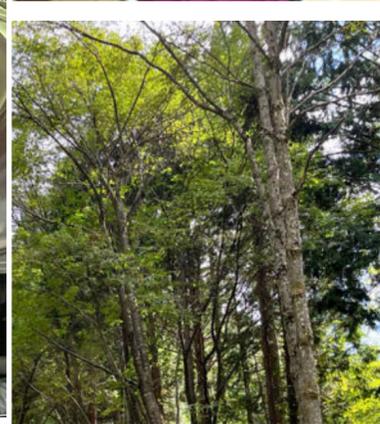
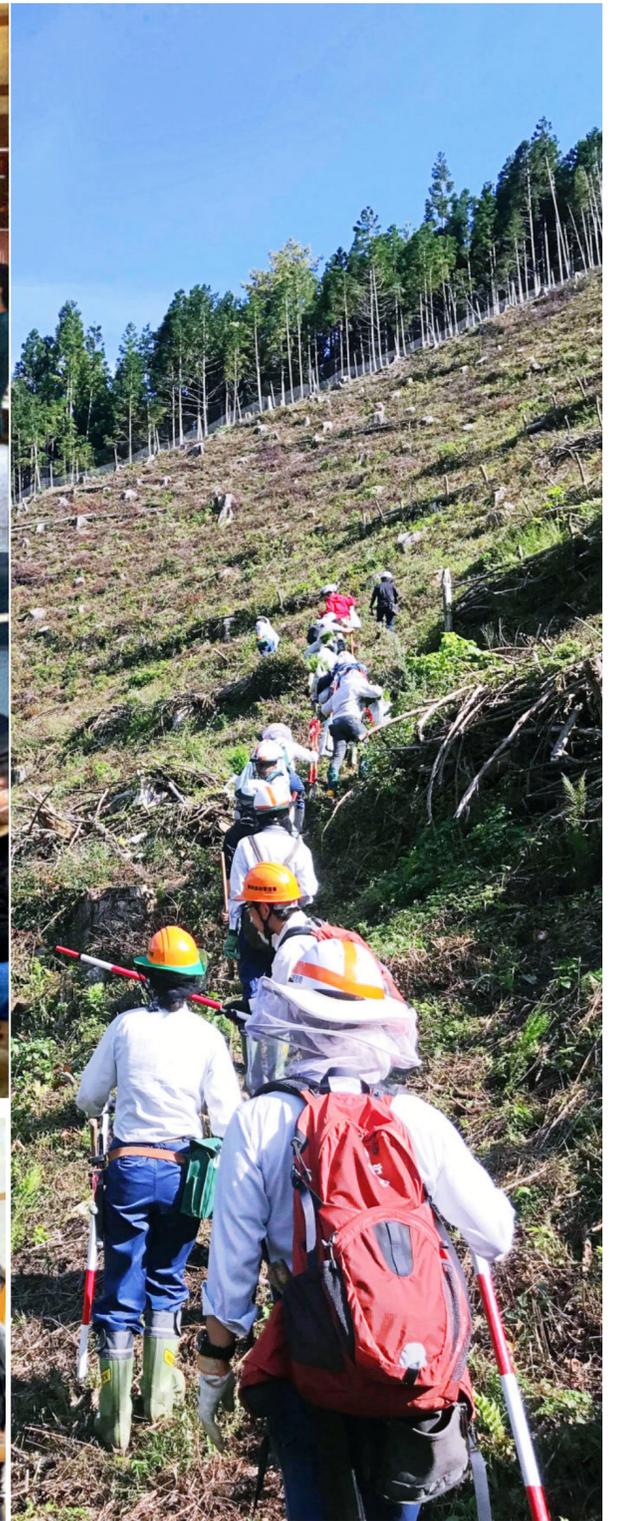
- 内容
- 模擬ピッチ
 - 審査員からのフィードバック

デモデイ



- 内容
- 最終プレゼン
 - 審査員からの講評
 - 優勝者には事業化資金の援助

過去のSUSTAINABLE FOREST ACTIONの様子



過去のSUSTAINABLE FOREST ACTIONの様子



過去のSUSTAINABLE FOREST ACTIONの様子



SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業生へのアンケート結果

SUSTAINABLE FOREST ACTIONプログラム全体の満足度

編成チームに対する満足度

提供される講義に対する満足度

伴走メンタリングに対する満足度

デモデイに対する満足度

SUSTAINABLE FOREST ACTION参加の影響

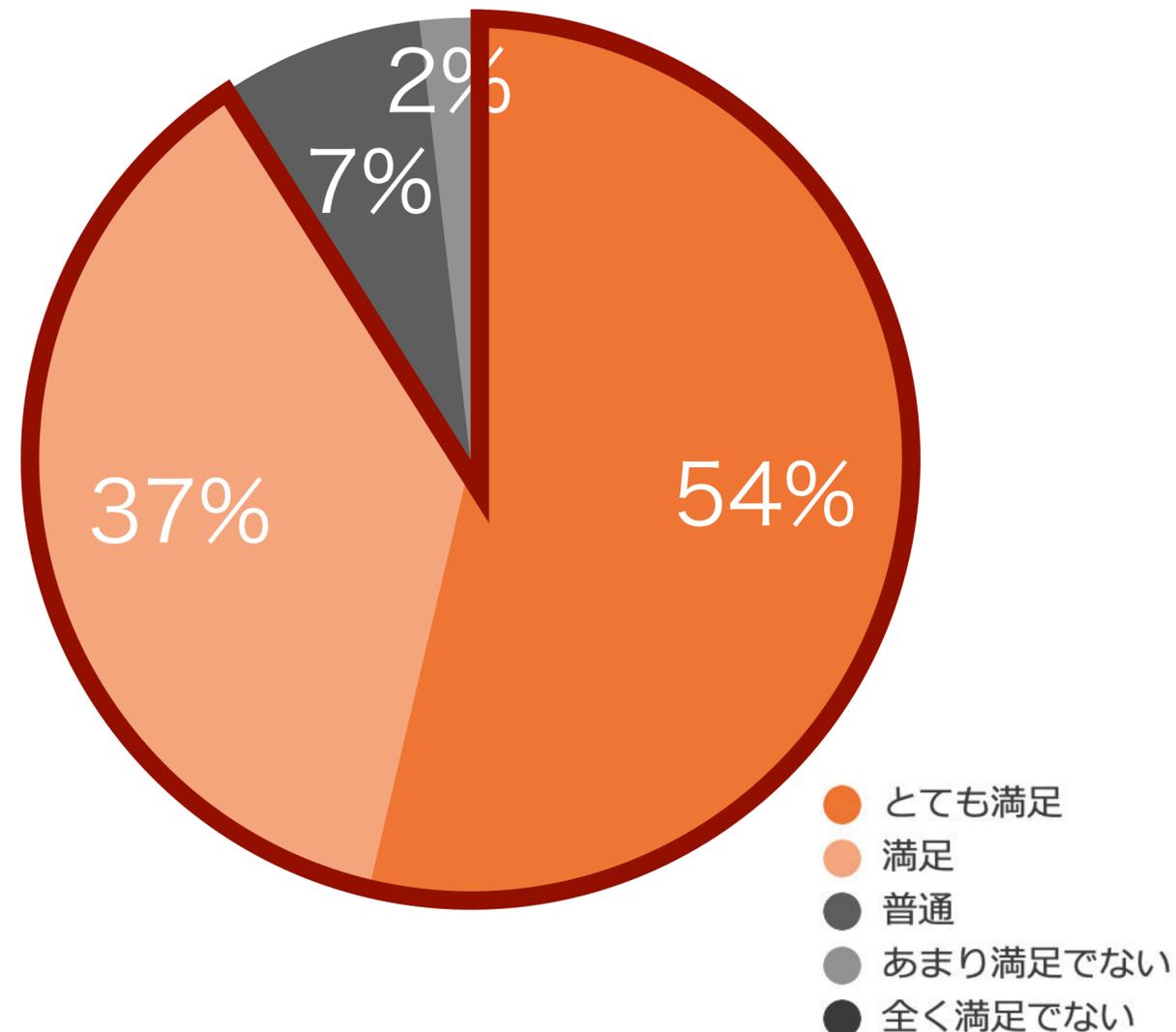
SFA卒業後の森林への関わり



過去開催したSUSTAINABLE FOREST ACTION（通称SFA）卒業生のプログラムの全体に関する満足度は？

プログラム全体の満足度

とても満足・満足 **91%**



SFA卒業生の声(抜粋)

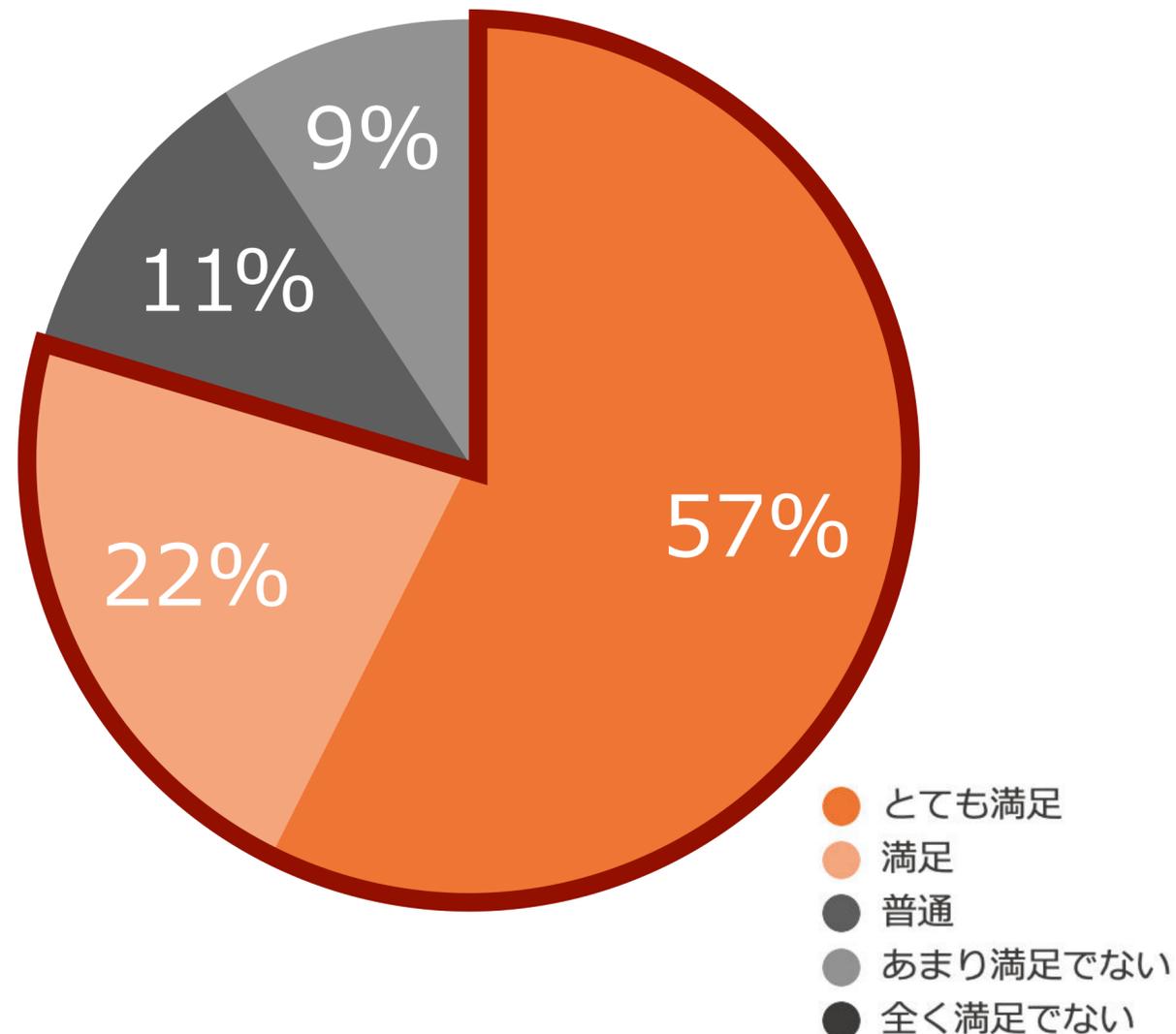
- ・一番は出会い。仲間や顧問、大人になってこんなに青春しているのは味わえない。仲間と青春できたことがいまだにわくわくしながらできていることにつながっている。
- ・異業種の方と繋がることで新しい価値観が手に入った。他のチームとライバルのように切磋琢磨することは少ないのでとてもいい刺激を受けた。
- ・参加しなければ知り得なかった日本の森林資源や林業従事者の課題を自分事として考えられるようになった。年齢も職業も全く違う方々と活動を共にできたのはとても貴重な経験と思う。
- ・いままで出会うことのなかった人に出会うことができた。事業開発は未経験でしたが2か月間やり切ったことで新しい一歩を踏み出すことができた。人生が変わりました。
- ・このSFAで得た財産は沢山ありますが、様々なバックグラウンド、考え方を持つ方々と、森林という共通の言語を以て知り合うことができたこと、議論することができたことが最も大きな財産です。



SUSTAINABLE FOREST ACTIONでは、林業人材と異分野人材をマッチングしてチーム編成し、事業検証を共創するオープンイノベーションの手法をとっている。SFA卒業生のチーム編成に対する満足度は？

編成されたチームの満足度

とても満足・満足 **79%**



SFA卒業生の声(抜粋)

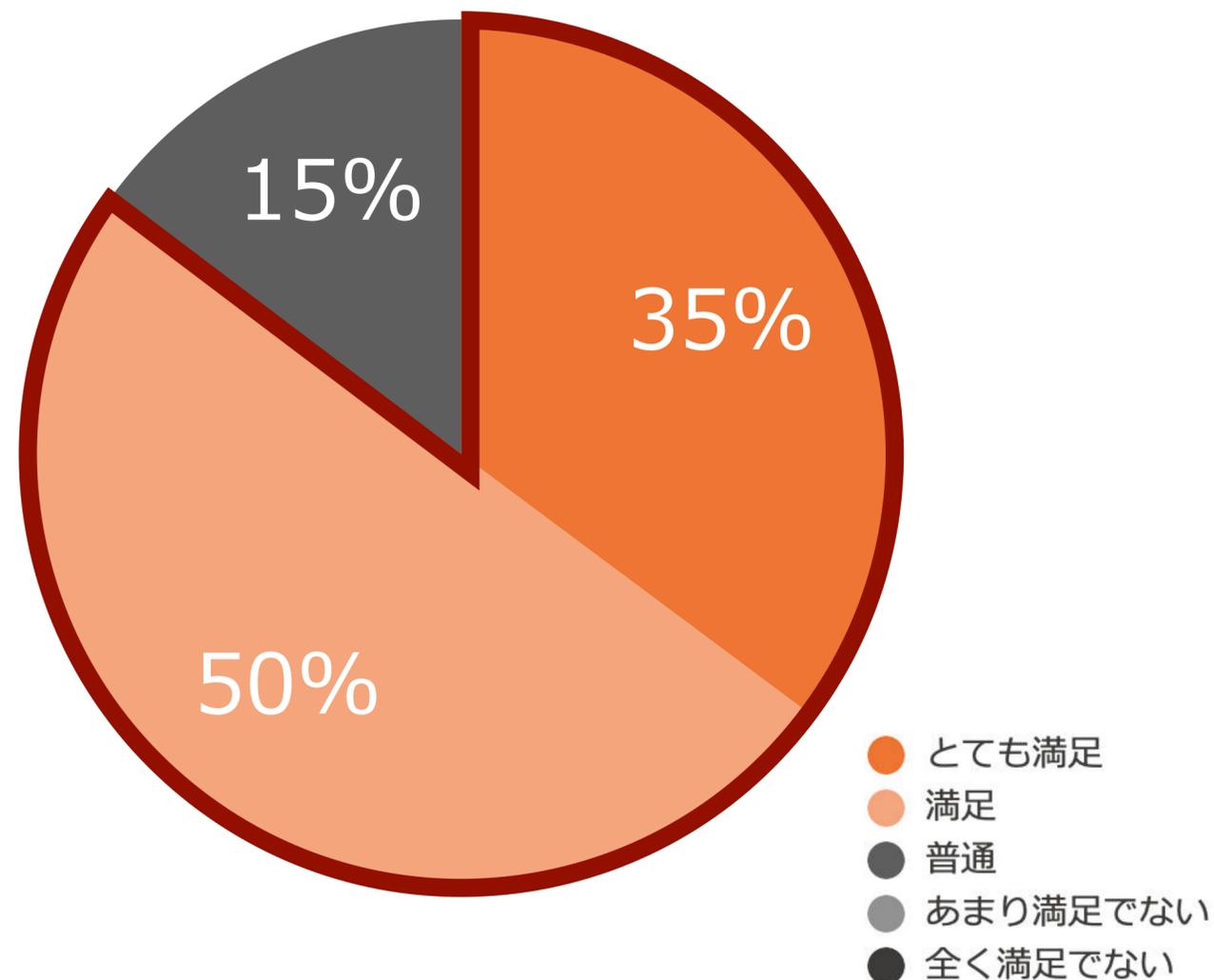
- ・ビジネスアイデアを考えていく上で異業種人材やメンターとの出会いがすごく良かった。
- ・参加してよかったことは、当初考えていたビジネスモデルをメンバーと一緒に議論できたことですかね！あと、メンバーの人脈で大学教授やメーカー様と出会えたことも大きかったです。
- ・それぞれの意見を出し合えるとても良い関係性を築くことができた。今後一緒に何かを実現したいチーム。
- ・このプログラムに参加しなければまず出会うことのない素晴らしい方と一緒に戦えたと思います。
- ・得意分野の異なる3人が集まり、最初のアイディアと全く異なる作品がきたこと。1人では絶対にできないアイディアが生まれました。



SUSTAINABLE FOREST ACTIONでは、参加者の事業開発のサポートするために新規事業開発関連の講義を行っている。SFA卒業生の新規事業開発講義に対する満足度は？

講義の満足度

とても満足・満足 **85%**



SFA卒業生の声(抜粋)

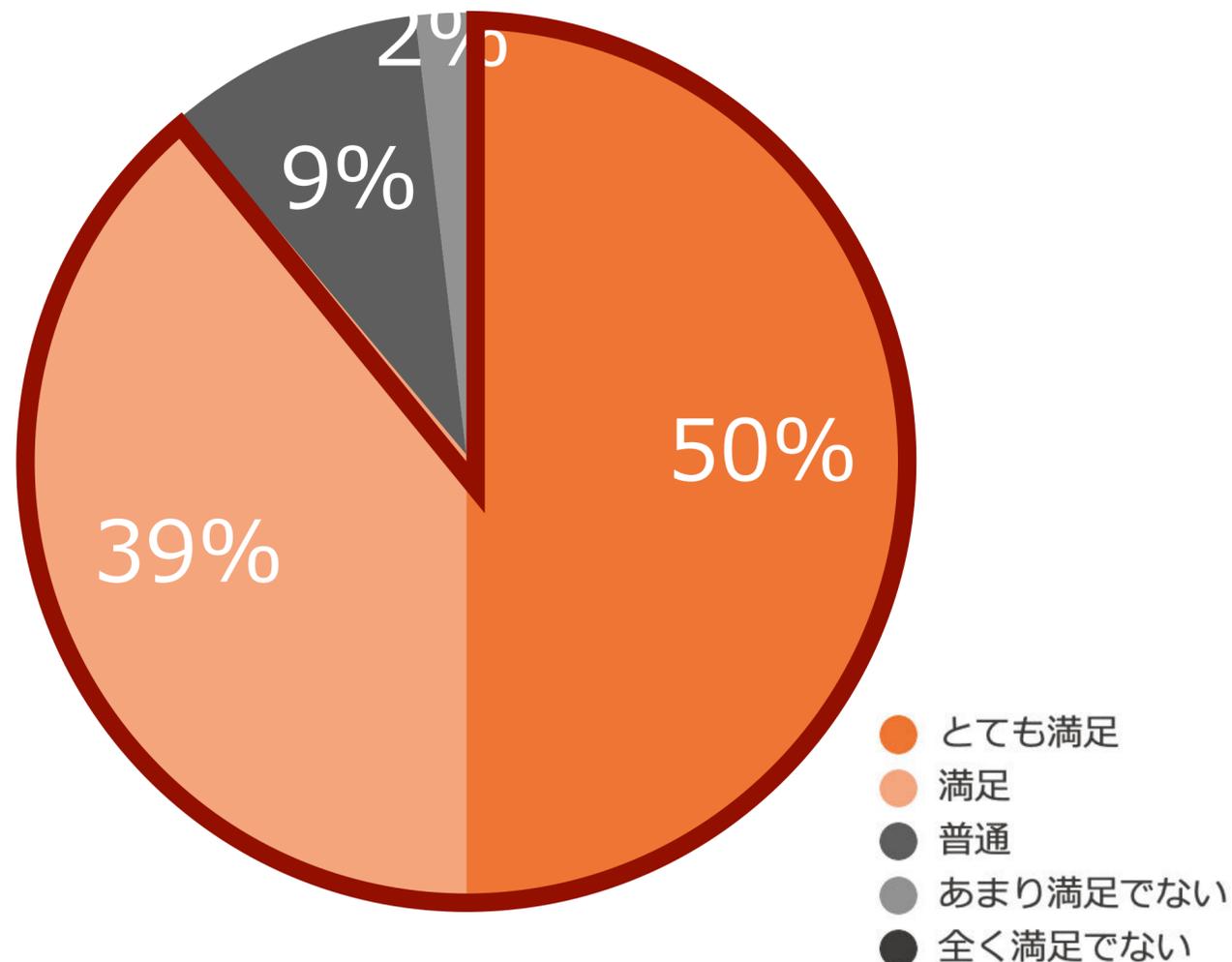
- ・発表までのオンライン研修や実地研修では非常に密度の濃い学びを得られた。今の事業や取り組みをする際にとっても参考になっている。
- ・事業開発についてはわからないことが多かったが、講義を受講したことでビジネスの進め方やピボットをしながら事業開発をしていくことを学ぶことができた。
- ・ビジネスプランの作り方を学べた。課題解決のプロセスを学ぶことができた。
- ・マーケティング初心者なので、この講義だけでもお金払っても良いくらいだと思い、大変有り難かったです。
- ・デモデイに向けて事業内容を詰めていくときに、高橋さんのプレゼン資料を何度も読み直して自分たちの事業だったらどういう内容になるのかを考える参考にしました。一から事業を作ったことがないので、プランニング中に何を進めていいのかわからなくなっても、中間やキックオフの講義内容が教科書変わりになり、手を止めることなく進められました。



SUSTAINABLE FOREST ACTIONでは、各参加チームの取り組む分野に適した事業開発経験のあるメンターによる伴走メンタリングを多なっている。SFA卒業生の伴走メンタリングに対する満足度は？

伴走メンタリングの満足度

とても満足・満足 **89%**



SFA卒業生の声(抜粋)

- ・メンターとのやり取りが良かった。メンターの方が金融のプロであったためとても貴重な経験だった。もう一回SFAをやりたい。
- ・チームメンバーと同じ熱量で伴走していただいた。SFAに参加し、このチームで取り組むことができたので今の自分がいます。
- ・どのように活動したらいいのかさっぱり、状態だったところ、メンターに入っていたいただいた途端に道筋を示していただいて、メンターの重要性を強く実感した。
- ・最初から最後までチームに寄り添って支えてくれました。事業のピボット、行き詰っているときの的確なアドバイスをいただきました。メンターの方がいなければ成り立たなかったと思います。
- ・メンターというより、ほぼチームメンバーとして参加いただき、常に新しい情報をインプットしたり、道に迷った時の突破口を作ってくれた。メンターがいたことで、安心して自由に議論出来た。

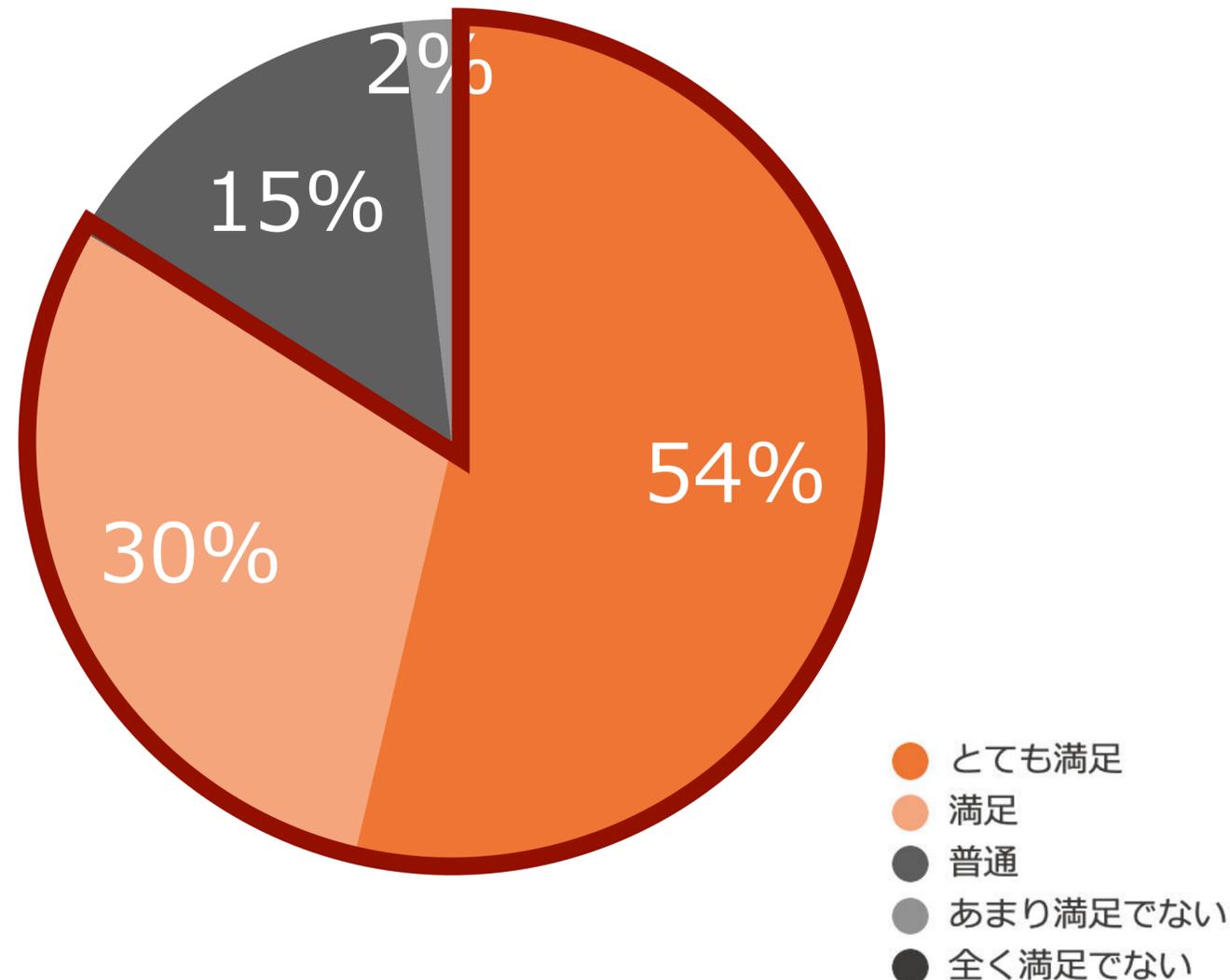


デモデイに対する満足度

SUSTAINABLE FOREST ACTIONでは、プログラムの最終日に、最終成果の報告会であるデモデイを行い、優勝者を決定する。デモデイおよび、その後の懇親会に対するSFA卒業生の満足度は？

デモデイの満足度

とても満足・満足 **84%**



SFA卒業生の声(抜粋)

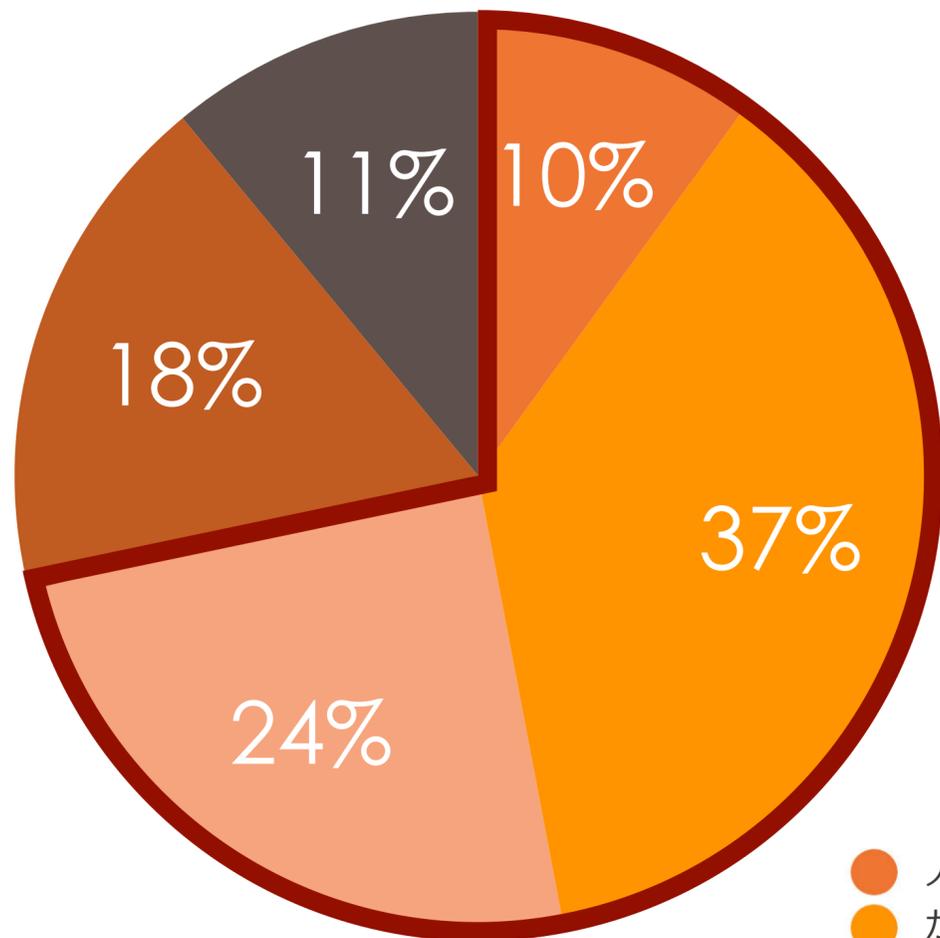
- ・プレゼン能力の向上。資料づくりが上手になった。審査員からの専門的なフィードバックが的確で、今の事業に活かさせている。
- ・普段からは考えもしないような様々な観点からの発表はとても勉強になった。他地域の植林方法やシカ対策についても非常に勉強になった。ビジネスに繋げていくところが新鮮だった。
- ・各チームのアイデア、創意工夫をこらしたプレゼンと審査員からのフィードバックがとても刺激的だった。
- ・コロナ過でオフラインで人と会う機会がほとんどない中、チームメンバーや参加者と直接お話しできたことはとても大きかった。審査員の的確なご指摘、デモデイ終了後のお話はとても参考になり今後の事業で活かしていきたい。
- ・懇親会も設けていただき、良い交流の機会となりました。心地よい緊張感の中で、楽しい時間を過ごせました。



SUSTAINABLE FOREST ACTIONの2ヶ月間は、事業の仮説検証を高速にPDCAを回しながら進める、かなり濃度が濃い2ヶ月となる。SFA参加後、SFA卒業生たちの生活や仕事に影響はあるのか。

Q. SFAへの参加によりその後の生活や仕事に影響がありましたか？

SFA卒業生の声(抜粋)



- ・人生が変わった
- ・かなり影響があった
- ・影響があった

71%

- 人生が変わった
- かなり影響があった
- 影響があった
- 少しは影響があった
- ほとんど影響はない

- ・ SFAに参加していなければ、全く異なる人生を歩むことになっていた。SFAに参加したおかげで起業し、普段出会うことのない人と出会う機会が増えた。
- ・ SFAに参加したチームメンバーと意気投合し協業ことができた。SFAのメンバーを支店長とし九州支店を設立することができた。
- ・ SFAをきっかけに自社への事業相談のお問合せの機会が増え、事業拡大につながっている。
- ・ SFAをきっかけに林業関係の課題の探究や人的ネットワークが広がり、自身の事業の大きなきっかけとなった
- ・ SFA以後、より一層常に新しい家取り組みにチャレンジするようになった。



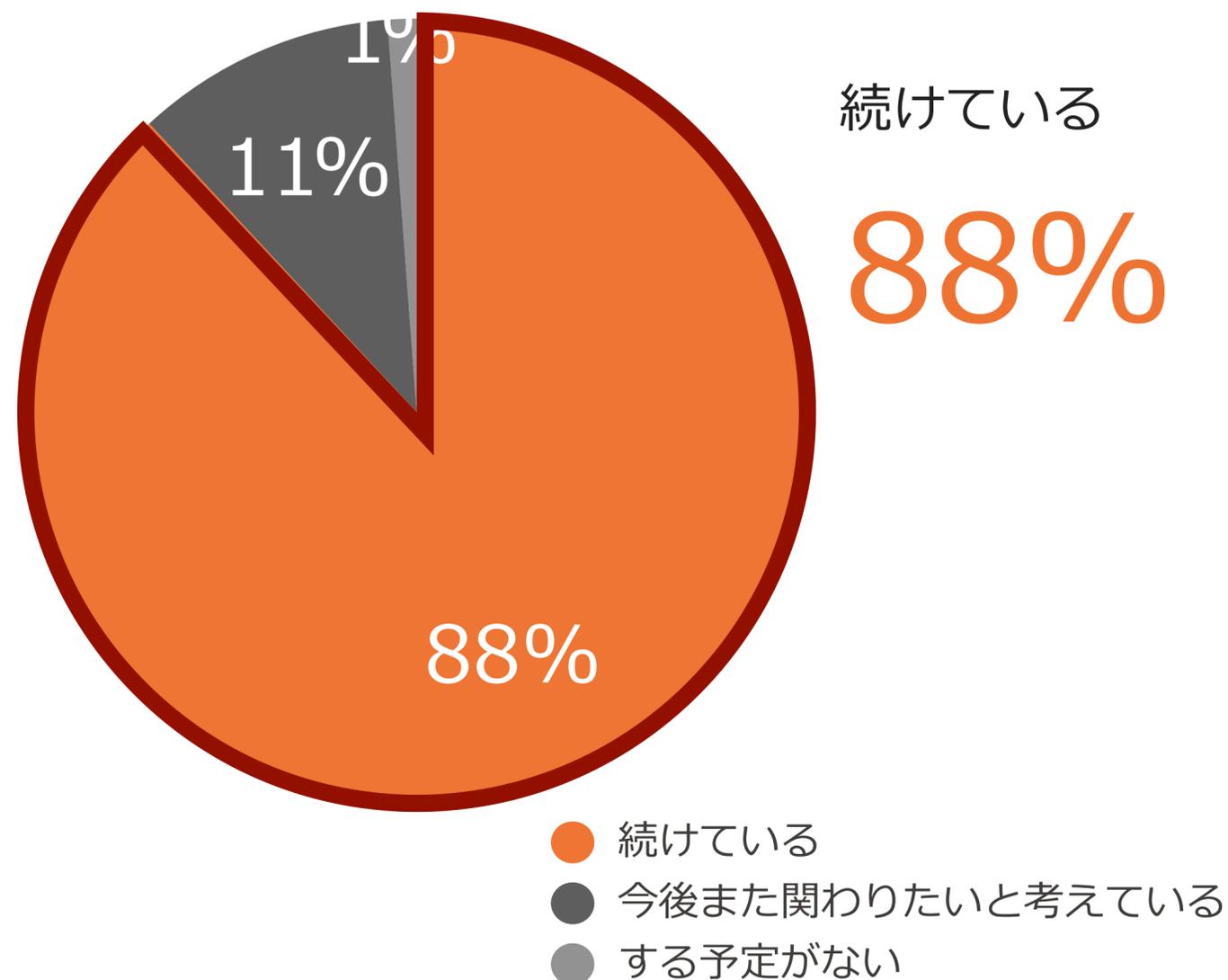
SFA卒業後の森林への関わり

SUSTAINABLE FOREST ACTIONの中にはSFAをきっかけに森林と関わることになった参加者も多い。
SFA卒業生は、SFA参加後も森林と関わる機会や活動が続いているのか。

Q. SFAへの参加後、
何かしら森林に関する活動を続けていますか？

SFA卒業生の声(抜粋)

- ・元々建設業の会社であったが、現在はキャンプ場の管理事業を始めており、森林に関わる事業を行っている。
- ・農業電動ロボットの林業応用としてSFAに参加していた。現在も林業分野も含めて研究開発を進めている。
- ・実際に山林を購入し、木材だけではない付加価値を提供することができるか検証している。
- ・起業の検討もしつつ、課外活動などで森林イベントを企画している。
- ・森林計測とそこから生まれる付加価値によるビジネス化を引き続き検討している。



SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業チーム一覧

SFA卒業生 50チーム一覧：8パターンの森林テーマ別

SFA2019 事業概要一覧 14チーム

SFA2020 事業概要一覧 11チーム

SFA2021 事業概要一覧 14チーム

SFA2022 事業概要一覧 6チーム

SFA卒業生50チーム一覧：8パターンの森林テーマ別



高付加価値化

木材高付加価値化

- 森がたり(2019)
- 残材利用で青い森再生(2019)
- 原木と木材の対話型オンライン市場(2020)
- 未使用材の定期購入で楽しい木工ライフを手軽に(2021)
- サステイナブルに円環するオフィス事業(2021)
- アカエゾマツの森林と恵の循環事業(2021)
- 林地残材を使ったオーダー住宅/リノベ向け内装材事業(2022)
- 環境配慮型コンパクト・リノベプラットフォーム(2022)
- 脱プラ社会を実現する、新世代木材マテリアルメーカー(2022)

森林フィールドの活用

- 樹木葬：グリーンサイクル(2019)
- 山林で行うサバイバルゲーム事業(2020)
- 林業とシナジーする事業創出：森林でのフィットネス(2020)
- マウンテンバイカーと森林組合の森林活用事業(2021)
- ユーザー参加体験型森林×農業育成プラットフォーム(2021)
- 空き森に集う仲間達が織りなすコモンズ創出事業(2021)
- 都会人材を癒す森林コンテンツ事業(2021)
- ウッドチェンジしたいデザイナーのための1DayTour(2021)
- オーダーメイド自然体験を提供するサブスク型森林空間(2022)
- 週末林業を核とした森林活用事業創出プラットフォーム(2022)

森林コンテンツの活用

- 竹など小型バイオマス発電ソリューション(2020)
- 山から育む子ども達の未来と日本の食(2020)
- ARを用いた新しい林業styleの提供(2020)
- 担い手育成の為にどんぐりを活用した教育コンテンツ(2020)
- 森林とリゾートを繋ぐカーボンオフセット事業(2021)
- 自伐型林業者による地域林業の再生と活性化(2021)
- 建築VRで生産者から消費者まで繋ぐ空間価値向上事業(2022)

業務効率化

森林調査・計画策定

- 森を視守る「まもり」(2019)
- mapry(2019)
- 民間フォレスターによる市町村行政支援事業(2020)

生産管理

(造林・草刈り・獣害対策・伐採・路網整備・搬出など含む)

- **造林**:ドローンでモリモリ(2019)
- **草刈り**:草を踏んで管理するロボット(2020)
- **獣害対策**:見えない鹿柵(2019)
- **獣害対策**:林業事業者における可処分時間の収益化事業(2020)
- **獣害対策**:林業(農業)の獣害被害低減事業(2021)
- **路網整備**:検索回数に応じて森に道を作る検索エンジン事業(2021)
- **施業マッチング**:林業に特化した事務支援事業(2020)
- **施業マッチング**:小さな山を異業種の手で開く事業(2021)

安全対策・労務管理

- **安全管理**:Tree-WiFiコミュニケーション(2019)
- **移動負荷軽減**:森林ムーバー(2019)
- **移動負荷軽減**:山のモビリティサービス事業(2021)
- **労務管理**:造林労働者のための労務管理アプリ(2019)

サプライチェーン改善

- eTREE(2019)
- テンバースクラウド(2019)

森林インフラ革命 (フィンテック、シェアエコ、WEB3.0など含む)

- 森のコイン(2019)
- Fan!Do(2019)

インフラ革命

SFA2019 事業概要一覧 14チーム



| | 事業アイデア | 林業テーマ | テーマ補足 | マネタイズ | 事業概要 |
|------|--------------------|------------|-------------------------|---------------------------|--|
| 優勝 | 森がたり | 木材高付加価値化 | 間伐材の高付加価値化／森林のコンテンツ活用 | 一般顧客(家族連れ)からのサービス利用料・家具代金 | 小学生の子供を持つ家族を対象とした、間伐材家具+林業バーチャル学習+林業現場体験 のクロスセル事業 |
| 入賞 | 森を視守る「まもり」 | 森林調査・計画策定 | 森林相続管理／境界確定／森林価値の可視化 | 信託銀行からの相続管理サービス利用料 | 森林情報をデータ化し、森林所有者が、森林管理や相続・売買について、専門家に相談できるアプリ |
| 入賞 | 森のコイン | 森林インフラ革命 | 森林価値の可視化／地域・コミュニティ通貨 | 企業などからの寄付・SDGs活動参画料 | 山林の3つの価値（経済資本、社会資本、環境資本）を自動評価、森づくりに関わる活動で発行され、森林関連消費や地域で使えるコミュニティ通貨 |
| 決勝進出 | ドローンでモリモリ | 生産管理 | 木材由来の新素材活用／造林作業の自動化 | 森林組合及び造林事業者からの造林サービス料 | 国産材を活用した土壌改良材「DWファイバー」+ドローン技術で実現する効率的かつ低コストな造林サービス |
| 決勝進出 | eTREE | サプライチェーン改善 | サプライチェーンの効率化(川下) | 工務店・設計事務所などからのEC手数料 | 林業家・製材所・材木屋の木材情報の一元化と、最終消費者が直接売買できるECプラットフォーム |
| | Fan!Do | 森林インフラ革命 | 林業特化型クラウドファンディング | 林業事業者からのクラウドファンディング成立手数料 | 林業事業者と個人投資家をつなぐ、林業特化型の融資型クラウドファンディング |
| | mapry | 森林調査・計画策定 | 森林調査・計画策定の効率化／生産管理の情報連携 | 行政からのアプリ利用料 | 三次元情報まで含む森林の測量データ等を誰でも簡単に活用できるアプリ。補助金申請-実地検査までシームレスに繋ぐデータ活用が第一フェーズ |
| | 見えない鹿柵 | 生産管理 | 獣害対策（防止・駆除） | 林業事業者からの装置代金 | さまざまな音で鹿を威嚇し、鹿を寄せつけない防除装置 |
| | 森林ムーバー | 安全対策・労務管理 | 移動負荷減少／森林におけるレジャー事業 | 林業事業者からの装置代金 | 林業従事者の不整地移動を助けるローバー型パーソナルモビリティ。観光客を対象とした森林浴サービスとして副収入にもなる。京都府の森林に関する補助金を獲得し試作品を1台作成した。 |
| | 樹木葬：グリーンサイクル | 森林フィールドの活用 | 森林における冠婚葬祭 | 一般顧客からの利用料 | お墓の代わりに死後自分の木を植樹する樹木葬サービス。樹木が育つと、家族・子孫は、その樹木からできた様々な木材製品を受け取ることができ |
| | ティンバーズクラウド | サプライチェーン改善 | サプライチェーンの効率化(川上) | 製材所からのEC手数料 | 中規模製材所のニーズを一元化することで、素材生産者が安定供給できるサービス |
| | 造林労働者のための労務管理アプリ | 安全対策・労務管理 | 労務管理 | 森林組合からのシステム利用料 | 森林組合を対象とした労務管理アプリ |
| | 残材利用で青い森再生 | 木材高付加価値化 | 未利用材・C材利用／林業事業者の複業推進 | 発電所などからの燃料チップ代金 | 伐採現場を集約化し、残材を燃料チップにして販売する。また土木や地域の他の事業との複業を推進する事業 |
| | Tree-WiFiコミュニケーション | 安全対策・労務管理 | 安全管理／森林内通信 | 林業事業者からのアプリ利用料 | 林業現場のリアルタイムコミュニケーションをスタートにしたジョブ管理・レスキュー・危険情報共有システム |

SFA2020 事業概要一覧 11チーム



| | 事業アイデア | 林業テーマ | テーマ補足 | マネタイズ | 事業概要 |
|------|---------------------------|------------|-----------------------------|-------------------------|--|
| 優勝 | 山林で行うサバイバルゲーム事業 | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業 | 一般顧客(サバゲーファン)からのサービス利用料 | サバイバルゲーマーを対象とした、森林を活用してリアリティを楽しめるサバイバルゲーム事業。将来的には各種イベントの横展開を想定。 |
| 優勝 | 林業に特化した事務支援事業 | 生産管理 | 森林所有者と林業施業者のマッチング | 林業事業者からのシステム利用及び契約手数料 | 森林所有者と、施業したい小規模林業事業者のマッチングWEBサービス。将来的には、林業の総合的な業務支援プラットフォームへの展開を想定。 |
| 決勝進出 | 民間フォレスターによる市町村行政支援事業 | 森林調査・計画策定 | 森林監理・長期森林計画/フォレスター育成 | 市町村からのコンサル料 | 市町村林務行政に対し、長期にわたる森林監理コンサルタント(フォレスター)を派遣する事業。長期では、フォレスター育成を行う。 |
| 決勝進出 | 山から育む子ども達の未来と日本の食 | 森林コンテンツの活用 | 林産物(原木椎茸)の高付加価値化 | 森林組合及び造林事業者からの造林サービス料 | 原木椎茸のブランドづくりと販売窓口の一本化で飲食店やエンドユーザーに直接生産者から届ける仕組みを作る |
| 決勝進出 | 竹など小型バイオマス発電ソリューション | 森林コンテンツの活用 | 林産物(竹)の活用・高付加価値化 | 工務店・設計事務所などからのEC手数料 | 自伐林家を対象とし、竹などの間伐材の搬出から、小型バイオマス発電まで一貫して担う事業 |
| | 草を踏んで管理するロボット | 生産管理 | 作業(草刈り)の自動化・機械化 | 林業事業者からのロボットレンタル料 | 林業事業者を対象とした、草刈り作業を削減するための、不整地対応草踏みロボット |
| | 原木と木材の対話型オンライン市場 | 木材高付加価値化 | 森林調査・計画策定の効率化/生産管理の情報連携 | 家具メーカーや工務店などからのシステム利用料 | 家具メーカー・工務店・木工作家などを対象に、山から搬出した広葉樹をトレースし透明化して提供するサービス。将来的には顧客を拡大。 |
| | ARを用いた新しい林業styleの提供 | 森林コンテンツの活用 | 森林ARコンテンツ | 一般顧客(都会の家族)からのアプリ月額課金 | 都会の家族を対象に、季節に合わせて山と森林のコンテンツを定期配信するアプリ。伐木・収穫など森林体験や林産物・木工の定期宅配との抱き合わせ |
| | 木工林業事業者における可処分時間の収益化事業 | 生産管理 | 獣害対策(防止・駆除)/間伐材の収益化 | 林業事業者からの装置代金 | 森林管理者を対象に、鹿柵を主とした木工支柱を提供する事業。ビジネスモデルは、林業事業者が空き時間に生産するフランチャイズ方式を適用する |
| | 担い手育成の為にどんぐりを活用した教育コンテンツ | 森林コンテンツの活用 | 自然環境教育 | 学校・自治体からの教育受託費 | 学校・自治体など教育現場を対象とした、どんぐりを軸にしたSDGs教育プログラム事業(どんぐりの種まき・発芽・育苗・植林用への寄付一連) |
| | 林業とシナジーする事業創出: 森林でのフィットネス | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業 森林におけるリトリート | 一般顧客(トレーニング受講生)からの参加手数料 | トレーニングをしたい個人を対象とした、森林の場を活用してフィットネストレーナーがグループレッスンを提供するサービス |

SFA2021 事業概要一覧 14チーム



| | 事業アイデア | 林業テーマ | テーマ補足 | マネタイズ | 事業概要 |
|------|---------------------------------|------------|------------------------|-------------------------------------|---|
| 優勝 | マウンテンバイカーと森林組合の森林活用事業 | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業 | 一般顧客(バイカー)からのサービス利用料 | マウンテンバイカーを対象とした、森林にマウンテンバイクのトレイルをもうけ、大自然の中でマウンテンバイクを楽しめるサービス |
| 2位入賞 | 検索回数に応じて森に道を作る検索エンジン事業 | 生産管理 | 路網整備 | 企業からの広告収入 | 山林所有者を対象に、検索エンジンで得られた広告収入を森林の道づくりに投資することで解決する事業 |
| 2位入賞 | 未使用材の定期購入で楽しい木工ライフを手軽に | 木材高付加価値化 | C材の高付加価値化 | 一般顧客(木工ファン)からのサービス利用料 | 木工好きの個人を対象に、森から直接木工用素材を毎月届けるサービス。C材や未利用材を活用する。 |
| 4位入賞 | アカエゾマツの森林と恵の循環事業 | 木材高付加価値化 | 木材由来の新素材活用 | 一般顧客(4,50代男性)からの化粧品代金 | 40,50代の男性を対象とした、アカエゾマツを用いたオーガニックなスキンケア商品事業 |
| 4位入賞 | 林業(農業)の獣害被害低減事業 | 森林フィールドの活用 | 獣害対策(防止・駆除) | 一般顧客(猟師)からのサービス利用料 (森林紹介・備品貸出など) | 獣害に困っている林家と地域外・新米の猟師をマッチングする事業 |
| | ウッドチェンジしたいデザイナーのための1 Day | 森林フィールドの活用 | 森林・林業研修(研修ツアー) | 一般顧客(デザイナー)からのツアー代金 | 木質化案件を受注したデザイナーを対象に、木材の基本から森林の話まで勉強・研修できるワンデイツアーとその後の相談窓口サービス |
| | 森林とリゾートを繋ぐカーボンオフセット事業 | 森林コンテンツの活用 | 森林価値の可視化/カーボンオフセット | リゾート施設関連観光事業者からのプラットフォーム利用料+価値利用料 | リゾート施設関連観光事業者を対象に、Jクレジット以外でカーボンオフセットにつながる森林貢献活動をマッチングする事業 |
| | 自伐型林業者による地域林業の再生と活性化 | 森林コンテンツの活用 | 森林・林業研修(事業共同開発型) | 企業からの人事研修費用 | 企業を対象として、人材育成の一環として、森林・地域の課題を、林業従事者・地域住民と企業人材で共に解決する研修事業 |
| | 空き森に集う仲間達が織りなすコモンズ創出事業 | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業/森林・林業研修 | 一般顧客(森林活用したい人)からのサービス利用料 | 森林での様々な体験をしたい都会の顧客を、活用されず放置された森林に呼び込み、森林資源を消費者主導で様々な形で利活用するサービス |
| | 山のモビリティサービス事業 | 安全対策・労務管理 | 移動負荷減少 | 林業事業者からの機器代金及びメンテナンス費 | 林業事業者を対象とした、山の移動負荷を軽減するため、不整地でも地面に触れずに移動可能なパーソナルモビリティ |
| | 都会人材を癒す森林コンテンツ事業 | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業/森林リトリート | 一般顧客(都会の家族)からのサービス利用料 | 都会のビジネスパーソン及びその家族などを対象とし、森林フィールドの有料貸出サービス |
| | 受け皿のない小さな山を異業種で開く事業 | 生産管理 | 森林所有者と林業施業者のマッチング(異分野) | 森林所有者からのマッチング手数料 | 小面積の山林を持つ山主を対象に、森林施業を、従来の林業事業者ではなく土木業者・フリー伐倒手・運送業者などとマッチングする事業 |
| | 「Workplace」: サステイナブルに円環するオフィス事業 | 木材高付加価値化 | 間伐材の高付加価値化 | 企業からのオフィス家具代金 | 企業のオフィスを対象とした、檜間伐材をモジュール化定型化し、ニーズの変化に合わせて、椅子、棚、机などに自由に形を変えることのできる家具 |
| | ユーザー参加体験型 森林×農業育成プラットフォーム | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業/自然環境教育 | Confidential | Confidential |



SFA2022 事業概要一覧 6チーム

| | 事業アイデア | 林業テーマ | テーマ補足 | マネタイズ | 事業概要 |
|---------------|---------------------------|------------|----------------|------------------------|---|
| インキュベーション部門優勝 | 林地残材を使ったオーダー住宅/リノベ向け内装材事業 | 木材高付加価値化 | 内装材販売プラットフォーム | 工務店もしくは個人からの内装材販売手数料 | 林地残材を内装材に加工依頼し、作成したパーケット材を自社ECサイトを活用し工務店やリノベ施設を検討する個人に販売する。ECサイトを軸に海外展開も予定している。 |
| | オーダーメイド自然体験を提供するサブスク型森林空間 | 森林フィールドの活用 | 森林におけるレジャー事業 | 森林フィールド利用者の年間会員費 | 森林に詳しい山守をアテンドし、自然体験を提供することで管理されていない森林の活用する。より自由度の高い体験を顧客に提供することで顧客のエンゲージメントを高く維持する。 |
| | 週末林業を核とした森林活用事業創出プラットフォーム | 森林フィールドの活用 | 森林・林業研修（研修ツアー） | 林業研修参加者の参加費 | 副業として林業を考えている顧客に対して、小規模森林所有者と協力し、研修および研修場所を提供することで、週末林業家の育成と管理が行き届いていない森林の管理を行う。 |
| | 環境配慮型コンパクト・リノベプラットフォーム | 木材高付加価値化 | 住宅のリフォーム事業 | 工務店へのログシェルターキットの販売費 | 工務店に耐震ログシェルターキットの販売する。工務店はキットを利用しリフォームを行い、ログシェルターのリフォームを考えている顧客に提供する。また、林業事業者から木材を直接仕入れることで林業従事者への収益増加を図っている。 |
| アクセラレーター部門優勝 | 建築VRで生産者から消費者まで繋ぐ空間価値向上事業 | 森林コンテンツの活用 | 森林・製材・木造建築VR事業 | 林業従事者および製材事業者からのVR作成費用 | 森林・製材所・木造建築においてVRを作成し、地域の森林の特徴や木材について可視化することで国産材使用量増加や、設計効率と売上の向上を目指す。 |
| | 脱プラ社会を実現する、新世代木材材料メーカー | 木材高付加価値化 | 木材を活用した新素材の開発 | 脱プラを目指す企業への素材提供費用 | 木屑や林地残材をチップ化したものと改質リグニンを組み合わせることで木質新素材を開発している。様々な製品に加工し、脱プラを目指す企業に販売を行う。 |

SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業生の活躍

法人設立事例

法人設立以外の新規事業事例

民間・自治体などとの連携事例

資金獲得事例



法人設立事例

| 期 | 会社名 | デモデイ事業名 | 設立後の動き |
|------|---------------------|-------------------------------|---|
| 2019 | 株式会社OneGreen | 森がたり | チームで、法人設立。現在は、文化・森林・食・伝統工芸など地域の特徴を活かした地域密着型のサウナをプロデュースする事業およびサウナのオンラインサロン事業を展開している。東京都。 |
| 2019 | 株式会社GREEN FORESTERS | ma p r y | 同チームに参加していた参加者の一人が、メンター、事務局の横のつながりによって、新会社育林業のジョイントベンチャーを立ち上げた。現在は、群馬、栃木、新潟に展開をしている。全国展開に向け事業を拡大中。東京都。 |
| 2020 | 株式会社フォレストーリー | 山林で行うサバイバルゲーム事業 | チームで法人設立。栃木の森林で、定期的にサバイバルゲームを開催し、収益の一部を森林に返す事業。農林水産省INACOMEをはじめ複数のビジコンにて入賞している。最近では、サバゲー以外のイベントも展開。栃木県宇都宮市。 |
| 2020 | 株式会社ソマノベース | 林業に特化した事務支援事業 | SFAデモデイ時に起案した、山主・施業者の事務支援事業の他、WEBメディア、森林環境教育、苗木を販売し育ててもらった後に森に植える事業、カーボンプレジット参入の支援事業など多角的に展開している。和歌山県田辺市。 |
| 2020 | フォレスターズ合同会社 | 民間フォレスターによる市町村行政支援事業 | 森林監理を担う中核人材の育成、市町村森林整備計画立案の支援、などに取り組んでいる。2022年10月に高知県本山町に地域フォレスターの採用・育成事業の採択が決まった。愛知県岡崎市。 |
| 2020 | 合同会社Verde Energia | 竹など小型バイオマス発電ソリューション | デモデイで起案した竹材のバイオマス発電から、広義の小型バイオマス発電事業にピボット。インド、デンマークなど複数の小型バイオマス発電をローカライズし、地域に導入する事業をおこなっている。京都府向日市 |
| 2021 | 株式会社mints | 原木と木材の対話型オンライン市場 | デモデイに起案した事業とは別途、株式会社mints設立。自然体験ツアー、森林ツアーを事業化し、法人・個人向けに定期的に提供している。島根県津和野市。 |
| 2021 | ミリオンペタル合同会社 | マウンテンバイカーと森林組合の森林活用事業 | トレイルビルドを行い、2022年4月にミリオンペタルパークをオープンした。他、森林利活用の先行事例として自治体や森林組合にマウンテンバイク事業について研修を行っている。ヤマハ発動機との連携も視野。静岡県掛川市。 |
| 2021 | 株式会社Molick | 検索回数に応じて森に道を作る検索エンジン事業 | デモデイ時の事業とは別途、Jクレジット参入のためのコンサルティングにピボット。他、森林管理・森林経営に関するアドバイスなどを多角的に行なっている。新潟県新潟市。 |
| 2021 | 合同会社森のび | 自伐型林業者による地域林業の再生と活性化 | 奈良県下北山村と協力し、村から委託を受け地域おこし協力隊の林業人材育成事業を行っている。林業人材の誘致事業を始めたところ、移住した地域おこし協力隊が就業が困難なことを検証中に知り、育成事業にピボットした。 |
| 2021 | 合同会社Rafters | ウッドチェンジしたいデザイナーのための1 Day Tour | 企業が今後SDGsやフェアウッド等環境への取り組みを行いたいというニーズに着目し、新入社員に環境教育を行いたい内装材関連企業に対して、林業および製材業が学ぶことができる研修を提供している。埼玉県飯能市。 |
| 2021 | 日本山林再生株式会社 | 受け皿のない小さな山を異業種力で開く事業 | 小規模山主をつなげる事業は森林の集約化に多大な労力が必要になったことが明らかになった。株式会社woodinfoと事業連携を行いカーボンプレジットの創出支援事業や森林管理に関する実証実験を行っている。栃木県宇都宮市。 |
| 2022 | 株式会社myaku(設立準備中) | 林地残材を使ったオーダー住宅/リノベ向け内装材事業 | 林地残材を様々なデザイナーによって内装材に加工、作成したパーケット材を工務店やリノベ施設に提供する事業。ECサイト販売から、CSR事業の支援活動の一環としての販売など販売手法を試行錯誤中。神奈川県鎌倉市。 |

ピックアップ「Be Forester（2020年）」



株式会社フォレストリーは、栃木県の森林で、サバイバルゲーム事業「Be Forester」を展開している。定期的なサバイバルゲームで、収益の一部を森林に還元する。農林水産省 INACOMEをはじめ複数のビジコンにて入賞。最近、サバイバルゲームに加えて、森林空間を活用した音楽発表会やコスプレの撮影会に多くのサービスを展開。





ピックアップ「戻り苗（2020年）」

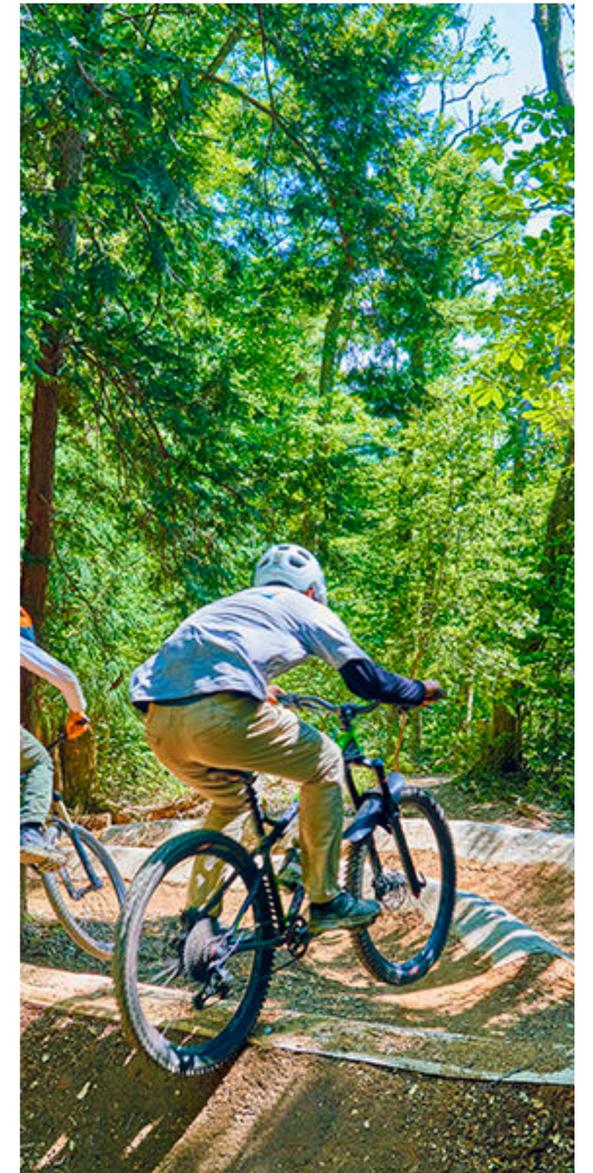
株式会社ソマノベースは、和歌山県田辺市を拠点に、森林・林業にまつわる様々なサービスを展開する中、「戻り苗」というユニークなプロダクトを開発・販売している。購入者は、種から2年間かけて、苗木を育て、2年後苗木を山に返す。観葉植物として楽しみながら豊かな山づくりに貢献することができる。さらに、無事に苗木を返した購入者は、2年後、苗木を返した和歌山県の山で取れた木材を使用した製品を購入することができる。



ピックアップ「Million Petal Bike Park（2021年）」



ミリオンペタル合同会社は、静岡県掛川市にて、トレイルビルドを行い、2022年4月にミリオンペタルパークをオープンした。1周約200mの初心者コースと、約400mの本格デュアルコースを含む5コースを開放している。森林利活用事例として森林組合や自治体での講演も多い。ヤマハ発動機との連携と全国展開も視野に入れている。





法人設立以外の新規事業事例

| 期 | 事業名など | デモデイ事業名 | 設立した新規事業 |
|------|------------------------------------|---------------------------|--|
| 2019 | 株式会社 ADDIX 「sameboatキャンプ予約」 | グリーンサイクル (森の葬儀事業) | 「地域の事業者」と「パートナー企業・クリエイター、さらに、その活動を応援したい「支援者」からは活動のための資金を供出いただくプログラムを作り、その一つの事業として、SFA参加者と林業家と山林キャンプ事業をスタートしている |
| 2020 | 株式会社 武久 「陽より子」 「しいたけワンダーランド」 | 山から育む子ども達の未来と日本の食 | 椎茸生産者から直接仕入れる流通の仕組みを構築し、ドレッシングやかりんとうなどオリジナル商品を開発し、関東関西の百貨店や地元の飲食店に販売している。しいたけサブスク、森林体験など椎茸にまつわるあらゆるサービスを展開中。 |
| 2020 | 株式会社Andeco 「広葉樹トレーシング」 | 原木と木材の 対話型オンライン市場 | 広葉樹材が、針葉樹林主体の日本の林業の中で利用されずに放置されている課題に対し、広葉樹を自社開発のチップでトレースし、高付加価値化商品になるまで活用していく事業をスタート。家具メーカー、大学などと連携している。 |
| 2021 | 株式会社フォレストリー 森林活用エンタメイベント | 山林で行うサバイバルゲーム事業 | サバイバルゲーム事業「Be Forester」に加えて、赤外線銃を使用した子ども向けのシューティングイベントや森林空間を活用した音楽発表会やコスプレの撮影会に多くのサービスを展開。 |
| 2021 | 山口県庁 またたび加工販売 | ARを用いた新しい林業styleの提供 | デモデイ起案時の事業とは別途、林産物としての木本植物のまたたびの可能性を見出し、またたびの加工および販売事業を展開。 |
| 2021 | 森庄銘木産業株式会社 「かりつなぎ」 | 林業(農業)の獣害被害低減事業 | 地域外・新米の猟師と獣害に悩む林業家・農家とをつなぐサービスに併せて、狩猟免許所得者向けの講習会等関連事業やハンターに学ぶスタディツアーを展開している。 |
| 2022 | 合同会社もものわ 「週末林業家育成塾」 | 週末林業を核とした森林活用事業創出プラットフォーム | 社内事業の新規事業として、週末林業家育成塾を開き、3ヶ月間週次のトレーニングプログラムの提供を開始した。 |
| 2022 | 株式会社ジオクリエイツ 「森林・建築VR」 | 建築VRで生産者から消費者まで繋ぐ空間価値向上事業 | SFAをきっかけに九州支店を設立し様々な場所でVR撮影を行い、建築利用者のデータを収集し、新規事業をさらに展開している。 |

ピックアップ「かりつなぎ（2020年）」



森庄銘木産業株式会社は、地域外・新米の猟師と獣害に悩む林業家・農家とをつなぐサービスを定期的に行っている。狩猟免許所持者向けの講習会等関連事業やハンターに学ぶスタディツアーを展開している。地域の獣害および林業被害の認知を拡大させるため一般の方向けにスタディーツアーを複数回開催し事業化をしている。

スタディーツアーの様子



SNSも高頻度で更新中



ピックアップ「森林・建築VR（2022年）」



株式会社ジオクリエイティブはSFA時のチームメンバーを社内の九州支店長に抜擢し、デモデイの約2ヶ月後、九州支店の立ち上げを行った。九州地域の様々な場所でVR撮影を行い、建築利用者のデータを収集し、新規事業をさらに展開している。デモデイ後、ESG系の複数のVCからも引き合いを受けている。

九州支店のあるFGNと九州支店設立時の写真
(右は代表の本田氏、中央は九州支店長の十時氏)

VR撮影を行う九州支店長:十時氏の様子

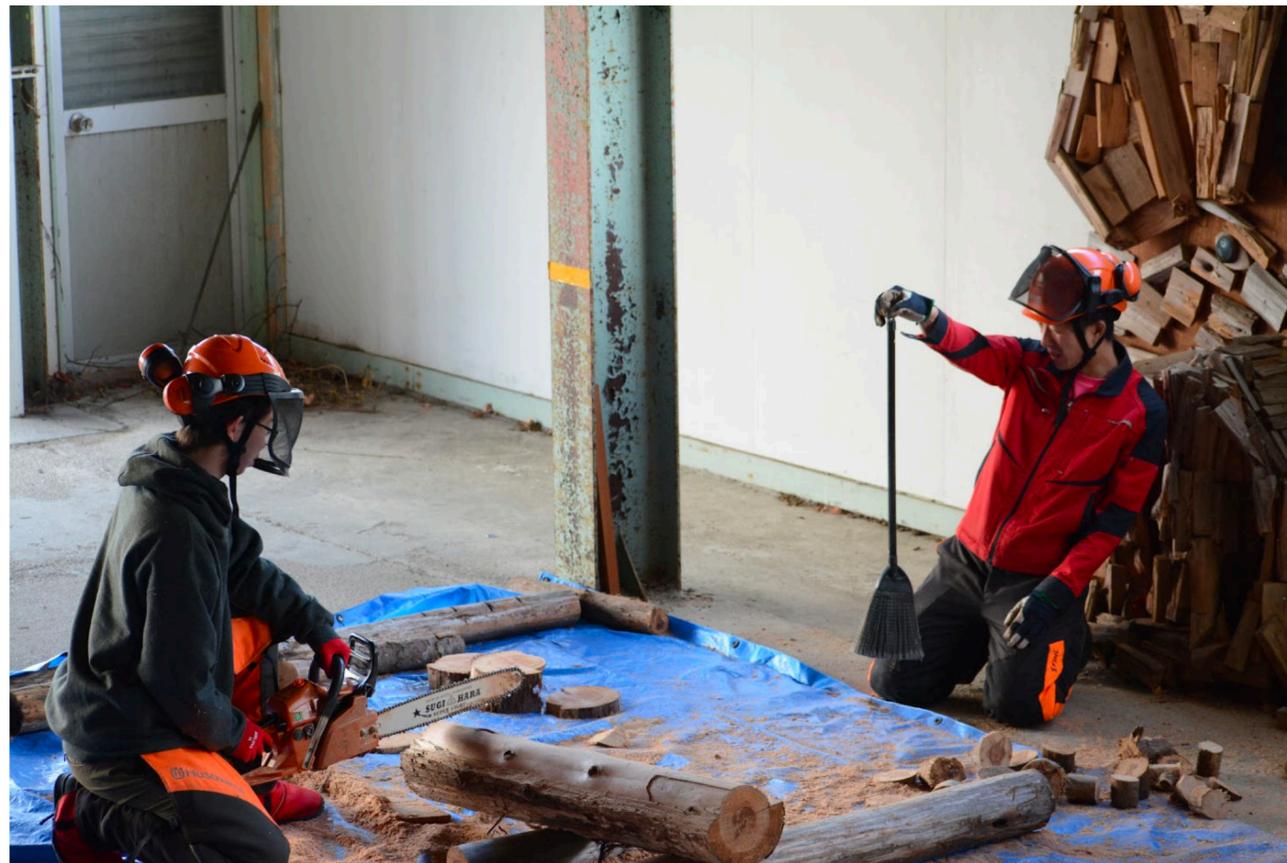


ピックアップ「週末林業家育成塾（2022年）」



合同会社もものわは社内の新規事業として週末林業家育成塾を事業化。3ヶ月間週次のトレーニングプログラムの提供を開始した。取り組みが全国的に注目を集めNHKのおはよう日本に放送された。また、より簡易的体験を提供するためチェーンソー体験も実施している。

チェーンソー体験の講師を務める森氏（右）



NHKの取材を受ける森氏





資金獲得事例

| 期 | 社名 | デモデイ事業名 | 種類 | 内容 |
|------|---------------|-----------------------|------|--|
| 2019 | 株式会社森未来 | e T R E E | 民間投資 | <ul style="list-style-type: none"> 2021年10月、一般財団法人KIBOWをリード投資家に、キャナルベンチャーズ株式会社、ANOBAKAを引受先とする第三者割当増資を実施し、総額8,000万円の資金調達をした。 さらに投資家・事業家を含め2ラウンド目の第三者割当増資が確定している。 |
| 2019 | 株式会社マプリィ | ma p r y | 民間投資 | <ul style="list-style-type: none"> 2020年12月、合同会社DMM.comと林業や森林管理分野におけるテクノロジーの活用による生産性向上を目指す資本提携を行った。 2023年1月、DRONE FUND、株式会社ミライト・ワン、清水建設株式会社を含める第三者割当増資によるシリーズA(ファーストクローズ)の資金調達を実施した。 |
| 2021 | 株式会社GOYOH | 森林とリゾートを繋ぐカーボンオフセット事業 | 民間投資 | <ul style="list-style-type: none"> 複数の投資家・事業化からの第三者割当増資。詳細Confidential。 |
| 2019 | 国土防災技術株式会社 | ドローンでモリモリ | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 林野庁 令和元年度 森林づくりにおける異分野技術導入事業 林野庁 令和2年度 森林づくりにおける異分野技術導入事業 |
| 2019 | 株式会社マプリィ | ma p r y | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 農林水産省 令和3年度スマート農業実証プロジェクト |
| 2019 | 株式会社デザイオ | 森林ムーバー | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 京都府 令和2年度 ものづくり中小企業等経営変革緊急支援事業 |
| 2019 | 株式会社One Green | 森がたり | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 林野庁 令和2年度森林づくりにおける異分野技術導入事業 |
| 2020 | 株式会社ソマノベース | 林業に特化した事務支援事業 | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 林野庁 令和2年度 林業分野における新技術推進対策事業費補助金 |
| 2020 | 株式会社Andeco | 原木と木材の対話型オンライン市場 | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 林野庁 令和2年度 森林づくりにおける異分野技術導入事業 |
| 2020 | Confidential | Confidential | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 経済産業省 令和2年度 事業再構築補助金 約1,600万円 経済産業省 令和2年度 事業再構築補助金 約4,000万円 |
| 2021 | 森庄銘木産業株式会社 | 林業(農業)の獣害被害低減事業 | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 奈良県 |

民間・自治体などとの連携事例



| 期 | 会社名 | デモデイ事業名 | |
|------|---------------|------------------|---|
| 2019 | 株式会社マプリア | ma p r y | <ul style="list-style-type: none"> • 合同会社DMM.com：林業・森林分野における生産性向上を目指す資本提携 • モルゲンロット株式会社：「3次元データの高度利用」について、「再生可能エネルギーを利用したエッジ型データセンターにより達成すること」を目指す事業提携 • 国立環境研究所、福島大学、島根大学、森林総合研究所など複数の機関と共同研究 • 株式会社デザイオ（SFA参加別チーム）：衛星測位技術を用いた連携 |
| 2019 | 国土防災技術株式会社 | ドローンでモリモリ | <ul style="list-style-type: none"> • 農林中央金庫・全国森林組合連合会：低コスト再造林プロジェクトにおいて、苗木の生育促進資材を開発し、同技術を活用 • デンカ株式会社・株式会社ヤクルト本社：獣害対策技術の開発における連携 • 富士見工業株式会社：苗木の成長促進材の開発における連携 |
| 2019 | 株式会社デザイオ | 森林ムーバー | <ul style="list-style-type: none"> • 株式会社マプリア社（SFA参加別チーム）：衛星測位技術を用いた連携 |
| 2019 | 株式会社環境テクノサーブ | ドローンでモリモリ | <ul style="list-style-type: none"> • Confidential：造林計画の連携 |
| 2019 | 株式会社One Green | 森がたり | <ul style="list-style-type: none"> • 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）：地域コミュニティの調査を実施。 • 株式会社Miteki：Lineのオンラインサロンの提携・運営。 |
| 2019 | 株式会社ADDIX | グリーンサイクル | <ul style="list-style-type: none"> • 厚田産業株式会社（SFA参加同チーム）：地域活性化プロジェクト（キャンプ場におけるクラウドファンディングを用いた予約システムの開発）を新規事業立ち上げ |
| 2019 | 厚田産業株式会社 | グリーンサイクル | <ul style="list-style-type: none"> • 株式会社ADDIX（SFA参加同チーム）：地域活性化プロジェクト（キャンプ場におけるクラウドファンディングを用いた予約システムの開発）を新規事業立ち上げ |
| 2019 | 株式会社森未来 | e T R E E | <ul style="list-style-type: none"> • FSC® Japan：サステナブルな森林・木材の取り扱いを目指したポータルサイトの共同リリース |
| 2020 | 株式会社Andeco | 原木と木材の対話型オンライン市場 | <ul style="list-style-type: none"> • カリモク家具、神戸大学、SHARE WOODS、信州大学、一般社団法人創造再生研究所、ひだか南森林組合：広葉樹のト高付加価値化とレーサビリティニーズの共同検証 • 大手グローバルメーカー：22年度 開発受託予定で共同プレスリリースを計画中 |
| 2020 | 株式会社ソマノベース | 林業に特化した事務支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> • （一社）熊野ツーリズムビューロー：森林教育カリキュラム作成事業で連携予定 • その他進行中企業 複数社 |

民間・自治体などとの連携事例



| 期 | 会社名 | デモデイ事業名 | |
|------|-----------------------------|---------------------------|--|
| 2020 | あじさい木工合同会社 | 林業事業体における可処分時間の収益化事業 | <ul style="list-style-type: none"> 徳島県森林づくり推進機構、兵庫農林機構：試験導入 宮崎県：導入予定 |
| 2020 | 株式会社タカショー | 担い手育成の為にどんぐりを活用した教育コンテンツ | <ul style="list-style-type: none"> CCC(株)/(株)サイバーリンクス：和歌山県の人口減少対策・シビックプライド醸成共同活動 大阪市東成区：体験型SDGsイベントを募集するのプロポーザルの受託が決定 |
| 2020 | 株式会社CuboRex | 草を踏んで管理するロボット | <ul style="list-style-type: none"> Confidential：林業を行う会社の業務改善 |
| 2020 | Confidential | Confidential | <ul style="list-style-type: none"> 某大手コンサル会社の指導下、サプライチェーンに関するシステム開発を進めている 某大学や某大手企業：連携した調査研究・新製品の開発 |
| 2020 | Atlas Associates株式会社 | ARを用いた新しい林業styleの提供 | <ul style="list-style-type: none"> 西部森林組合・山口県：新商品の共同開発。 山口県：地域特産品の海外向けWEB構築・EC化着手中。 |
| 2020 | 山口県庁 | ARを用いた新しい林業styleの提供 | <ul style="list-style-type: none"> Atlas Associates(株)（SFA参加同チーム）・西部森林組合：新商品の共同開発。 |
| 2021 | 森庄銘木産業株式会社 | 林業(農業)の獣害被害低減事業 | <ul style="list-style-type: none"> 奈良県宇陀市：鳥獣害低減へ向けて、かりつなぎ事業の展開へ向けた実証実験 |
| 2021 | 510GREENWORKS株式会社 | 未使用材の定期購入で楽しい木工ライフを手軽に | <ul style="list-style-type: none"> 株式会社ウッドワン：事業支援の打診 合同会社MANABIYA：100セットの試作制作・ |
| 2021 | ONE-Table合同会社 株式会社舗材サービス | アカエゾマツの森林と恵の循環事業 | <ul style="list-style-type: none"> アヤアルケミスト（アロマ技術）、モンテサント（ファッション）、大手化学メーカー：新素材の提案等 |
| 2021 | 日本山林再生株式会社 | 受け皿のない小さな山を異業種で開く事業 | <ul style="list-style-type: none"> 株式会社woodinfoと事業連携を行いカーボクレジットの創出支援事業 |
| 2021 | 合同会社森のび | 自伐型林業者による地域林業の再生と活性化 | <ul style="list-style-type: none"> 奈良県下北山村から委託を受け、地域おこし協力隊への人材育成事業および心理管理を行う。 |
| 2022 | 株式会社ジオクリエイツ | 建築VRで生産者から消費者まで繋ぐ空間価値向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> 銀座高木ビルにて奥多摩産材をもちいた森林・木造建築VRのサービスを提供した。 福岡市と連携し、福岡市が運営する官民共働型スタートアップ支援施設に九州支店を設立。 |
| 2022 | 一般社団法人シェルター・リフォーム協会 | 環境配慮型コンパクト・リノベプラットフォーム | <ul style="list-style-type: none"> 奈良県宇陀市と連携し、南都銀行が主催するアクセラレータープログラムにて、優勝。NHKにも取り上げられる。現在、耐震改修だけではなく、断熱改修も出来るように、自治体と連携しながら開発中。 |

SUSTAINABLE FOREST ACTION 卒業生成功事例の特徴

前提：スモールビジネスとスタートアップの違い

SFA卒業生の成功事例の定義：スモールビジネスとスタートアップ



前提：スモールビジネスとスタートアップの違い

スモールビジネスは、ローリスクローリターンで産業への影響度も高くなく、スタートアップはハイリスクハイリターンで、産業への影響度も大きい。

| | スモールビジネス | スタートアップ |
|-----------------|--|---|
| 成長方法 | <p>線形的に成長 そこそこのリターンを着実に得ることができる</p> | <p>Jカーブを描く 成功したら、巨額のリターンを短期間で産むことができる</p> |
| 市場環境 | <p>すでに市場が存在することが証明されている。 市場環境の変化は少ない</p> | <p>市場が存在することが確認されていない 不確実な市場環境のなかで行われる。</p> |
| スケール | <p>少数から徐々に増やすことができる。 少数のままで運用できる。</p> | <p>初期には少数だが、 一気に多くの人に届けることができる</p> |
| 関わる ステークホルダー | <p>自己資金、銀行</p> | <p>ベンチャーキャピタリストや エンジェル投資家</p> |
| インセンティブ | <p>安定的に出せる給料</p> | <p>上場やバイアウトによる ストックオプション、キャピタルゲイン</p> |
| 対応可能市場 | <p>労働力の調達・サービスの消費される 場所は限定される。</p> | <p>労働の調達・サービスの消費が あらゆる場所で行われる</p> |
| イノベーション 方法 | <p>既存市場をベースにする</p> | <p>既存市場を再定義する</p> |
| 産業への影響度 | <p>小さい</p> | <p>大きい</p> |

SFA卒業生の成功事例の定義：スモールビジネスとスタートアップ



SFAの卒業チームは、スモールビジネス型とスタートアップ型に分けることができ、スモールビジネスとスタートアップでは、成功要因の特徴に違いがある。

| | スモールビジネス | スタートアップ |
|----------------|--|---|
| 成功の定義 | 1年以上、定期的なサービス提供と課金を継続してる | 民間企業からの投資 |
| 過去のSFA事例ピックアップ | <ul style="list-style-type: none"> • フォレスターズ合同会社 フォレスターズ育成事業 (2020) • 株式会社 武久 しいたけ高付加価値化事業(2020) • 株式会社フォレストーリー サバイバルゲーム事業(2020) • 株式会社ソマノベース 戻り苗、他森林サービス事業(2020) • ミリオンペタル合同会社 マウンテンバイク事業(2021) • 森庄銘木産業株式会社 ハンターマッチング事業 (2021) | <ul style="list-style-type: none"> • 株式会社マプリー 森林三次元情報活用事業 (2019) • 株式会社森未来 木材コマース事業 (2019) • 株式会社GOYOH 森林価値と不動産マッチング(2021) • 株式会社ジオクリエイツ 森林・木造建築VR (2022) (ジオクリエイツ社はSFA後の調達は、2023年3月現在これから) |
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none"> • 自治体・地域との連携が取れていて、事業を行う地域・場所が確保されている • チームビルディングができており、社内のチーム、または社外の協力者で同等の熱量を持って進める仲間がいる • 収入面で、他に生活の基盤が確保されている中、事業に捻出できる時間と周囲の理解がある。 | <ul style="list-style-type: none"> • 一地域のみならず、多くの関係者を巻き込みながら事業を推進していく。特に都心の事業家・投資家を巻き込める。 • 社内外で、スキルの高い人材を採用していく。 • 一社に対するフルコミットで後にも前にも弾けない状態で、株式投資を受けて急成長していくという強いアントレプレナーシップがある。 |

SUSTAINABLE FOREST ACTION

株式会社Spero